



フージャースコーポ「ウイズ稲毛」のモデルルーム（左下が和室）

中2階にお父さんリビング

フージャースコーポレーションが、中2階の和室を設けた戸建感覚のマンションを近く分譲する。千葉市匝生町で建設中の「ウイズ稲毛」の最上階の2層メソネットタイプで採用したもので、和室の高さと位置を工夫することによって絶妙の空間を演出している。

和室はリビングの吹き抜け部分に設けたもの

フージャースが稲毛で

で、広さは4.5畳。掘とんぶが独立型で、オーリコート付き。高さは階間高さを約2.5畳大の空間を設け、2段で4段目、リビングはこのマンションが初めてインニングの床から約90センチと風通しが良い。ふすまや壁は設けず、オープンなものにして、リビングから視線が絶えず和室に向かうため、吹き抜け上部の空間や壁面が生き生きと効果もある。

中2階の居室付きは、住居全体の広さは約110平方メートル。玄関には幅とみさん、メソネットタイプは、全15戸のうち1戸しか設けていないが、新たな試みにユーザーがどんな反応を見せるか楽しみだ。現地はJR稲毛駅からバス16分徒歩4分。

吹き抜け空間・壁面を巧みに演出

トタイプは昨年分譲した川口や、近く分譲する柏のマンションにも採用したが、この稲毛は究極の戸建感覚を目指した。和室は、父親がゆつくりくつろげるスペースをイメージしたもので、「お父さんリビング」と呼んでいる」と話している。